

キャラクター名  プレイヤー名

シンドローム	ハヌマーン		ワークス	UGNチルドレンB	カヴァー	高校生
	ハヌマーン			年齢	16のどこか	性別
オプション	覚醒	生誕	衝動	殺戮	初期侵食率	39%
出自	親の理解		経験	大会	邂逅	忘却

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	2	0	0			2	行動値	35
感覚	2	1	3			6	(非装備時)	35
精神	2	0	0			2	戦闘移動	40
社会	2	0	0			2	全力移動	80

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	8		RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志		1	調達	5	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
先祖代々受け継がれてきた愛銃(呪われし者の銃)					
祖母の形見のネックレス(デモンズシード)					
祖母の形見のピアス(サイドリール)					
もう片方のピアス(インフィニティノヴァ)					
ウェポンケース					
サブゲー仲間のお揃いパーカー(思い出の一品)					
コネ: 手配師					
コネ: UGN幹部					
コネ: 情報屋					
コネ: 噂話					
最大財産P:	14	残り財産P:	7		

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
想い人	P	N		
山梨リト(チームメイト)	P 連帯感	N 隔意		
アルフレッド・J・コードウェル	P イケオジ	N 誰		
如月雪夜(きさらぎゆきや)	P 純愛	N 不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト:ハヌマーン	2	2	メジャー			シンドローム		
効果:	C値-Lv							
援護の風	7	2	オート	視界	単体			
効果:	ダイス+Lv個 1Rに1回							
ウィンドブレス	5	2	オート	視界	単体			
効果:	<援護の風>使用時判定の達成値+Lv*3							
マシラのごとく	6	5+1	メジャー		単体	シンドローム	80%	
効果:	攻撃力+Lv*10 ダイス-5個 1シナリオ1回							
限界突破	1	3	セット	至近	自身		80%	
効果:	1R1回のエフェクトを1R2回まで使用 1シナリオLv回							
リミットリリース	1	6	オート	至近	自身		100%	
効果:	C値-1(下限値5) 1シナリオ1回							
神速の鼓動	1	20	メジャー	視界	シーン(選択)	あらゆる技能	120%	
効果:	対象変更1シナリオ1回							
音速攻撃	5	2	メジャー	武器		射撃		
効果:	ダイス+Lv							
先手必勝	7	-	常時					
効果:	行動値Lv*3							
真偽感知	★							
効果:	「あなたは嘘を言ってるの言っていないの?」							
無音の空間	★							
効果:	「・・・まるで忍者みたい」							
効果:								
効果:								

両親がUGNエージェントで本人も生まれた時からオーヴァードだったためUGNチルドレンとして幼い頃から活動。数々の修羅場をくぐり抜けたが本人は楽しんでる模様。(別に戦闘狂じゃない)

両親や大好きなUGNのみんなの役に立てるのが嬉しい。高校に通っており成績は真ん中だが、明るい性格となんでもこなす姿からいろんな人に頼み事をされる(プリント配り、教室掃除、焼きそばパン購入の使いetc...)

口癖は「お役に立てたら光荣ですっ!」

学生生活を満喫しているので大学進学も考えている

趣味はサブゲーでノーマルの仲間と暇なときに出かけまくっている

実力はそれなりにある

実家はもともと古くからの軍人家系だったこともあり銃の扱いに慣れている

HO1

- シナリオロイス: 如月雪夜(雪奈)<きさらぎゆきや(ゆきな)> 推奨感情: P純愛/N不安
- 推奨Dロイス: 『想い人』
- カヴァー/ワークス: 高校生/自由

あなたはL市の高校に通う学生だ。UGNに所属しているでもイリーガルであってもいい。だが、どちらにしろあなたは既に幾多の修羅場をくぐってきた英雄である。そのためか、最近では退屈で仕方ない日常を送っているのだ。そのせいで、今はほんの少しでいいからこの日常にスパイスを求めている。そんなときであった、夕暮れ時の美術室で君はある一人の少女(少年)に出会うだろう。君は直感する、彼女(彼)こそが君の求めていたスパイスなんだと。ヒロインorヒーローの指定可。